

「京葉ガス エコ・グリーンサポート」 エネファーム・エコジョーズなど高効率ガス機器の販売数に応じ 7市に環境保全活動資金を寄付

京葉ガスは、当社がガスをお届けしている7市に対し環境保全活動資金として合計174万円(※)を寄付しました。



大久保博市川市長(左)に目録を手渡す当社社長湯山英清=10月17日、市川市役所

ガス供給区域の7市に対し高効率ガス機器の販売台数に応じた金額を寄付する「京葉ガス エコ・グリーンサポート」活動は、今年で4回目となります。高効率ガス機器の普及拡大による温室効果ガスの排出抑制とともに、地域行政の環境保全活動に役立てていただくことを目的として、平成22年から実施しています。

対象となる機器は、環境に優しいマイホーム発電「エネファーム」や「エコウィル」、従来型より熱効率の高い給湯器「エコジョーズ」のほか、今回から超高効率GHP（ガスヒートポンプエアコン）「エグゼア」が新たに加わり、市川、船橋、松戸、柏、鎌ヶ谷、浦安、白井の7市における昨年度（平成24年4月～平成25年3月）の販売台数は合わせて1万438台でした。

寄付金は総額174万円(※)となり各市における販売台数に基づく額を算出し、10月中旬から11月22日までに当社役員が各市役所を訪れ、市長に寄付目録を手渡しました。

※物品を含む